

ごみをカラスに荒らされないために

①カラス除けネットを設置しましょう

使い方としては、ネットと地面の間に隙間を作らない工夫が必要です。ゴミ袋をネットで完全に覆い、ネットの端を重りで押さえることで、風でめくれたり、カラスに引きずり出されたりすることの無いようにしましょう。

江南市ではおおむね 10 軒以上で利用している可燃ゴミ置場へネットを貸し出しています。

※ネットが道路に広がり、交通に支障が生じないように管理をお願いします。

【カラス除けネットの使用例】



②生ごみを隠そう

カラスは嗅覚よりも視覚で情報を得ていると言われています。生ごみは十分に水切りし、新聞紙などで包み、見えないようにしてください。さらに、包んだ物を隠すようにゴミ袋の中心に入れると効果的です。

③生ごみや残飯を減らそう

生ごみや残飯を減らすことも有効な対策です。また、ごみの減量はカラスへの問題対策だけでなく、資源の有効活用という観点でも、重要な取り組みとなります。

④出す日時を守ろう

収集日以外の日にごみを出すと、カラスにごみが荒らされる可能性が高くなります。必ず、収集日当日の午前 8 時 30 分までに地区ごとに決められた置場へ出してください。

⑤分別を守ろう

可燃ゴミ袋の中に、資源ゴミ（紙類・布類・繊維製品・ペットボトル・缶・ビン・鉄類・トレイ・プラスチック類等）が入っていると収集されません。収集場所に残されてしまうと、カラスに荒らされるリスクが高まるため、これらは可燃ゴミの袋には入れないようにしてください。

これらのことを意識して、地域の方々が清潔なごみ収集場所を維持できるよう心がけましょう！